

提案内容評価表

評価項目	評価点	加重点	配点	内容
I 基礎技術評価			45	
業務実施体制等	5	2	10	事業の趣旨・目的・現状を深く理解し、京都市が想定するサービス体制案であるか。
スケジュール	5	1	5	・計画作成・進行管理について、工程ごとに妥当な時間配分がなされ、業務完了に至るまでの過程が明確に説明されているか。
システム仕様	5	1	5	仕様書の第6項の基本機能要件を満たした提案がなされているか。
UX/UI	5	1	5	多くの市民が利用できるような、直感的でわかりやすい画面操作とデザインであり、優れたユーザビリティがあるか。または改修により実現可能か。
サポート及び保守管理体制	5	1	5	・操作説明会・マニュアル等の、行政・自治会双方への丁寧な支援があるか。 ・トラブル時の連絡・復旧プロセスが明確か。
情報セキュリティ・可用性	5	2	10	・脆弱性対策(TLS1.2、OWASP準拠)と第三者診断が実施されるか。 ・アクセス負荷に対するオートスケーリング構成の確実性。 ・個人情報保護条例等に準拠した厳格な情報資産管理体制。
業務実績	5	1	5	本業務と同種・類似業務の実績があるか。
II. 加算技術評価			40	
未加入者への情報発信機能	5	2	10	・地域活動への関心を高め、参加を促すためのアプローチ手法(アプリへの実装、Webサイト、SNS連携など)が具体的であるか。 ・管理者が複雑な操作を要せず容易に発信できるUX(ユーザー体験)が想定されているか。
外部システム・既存アプリとの連携	5	2	10	・京都市公式アプリ等と、シングルサインオン(SSO)等を用いて利用者の同一性を保持した連携が可能であるか。 ・双方のアプリ間における、確実なプッシュ通知やデータの双方向連携、および「OAuth 2.0」等を用いた安全性の高いセキュリティ認証方式が担保されているか。
将来的な課題解決に資するための拡張性	5	2	10	・本システムを基盤とした将来的な地域課題解決に向けて、事業者自らが描く将来像や中長期的な展開ロードマップが、本市の地域特性を踏まえて妥当性や実現可能性の高い提案となっているか。 ・将来的なデータ連携(AI予測モデル等の活用)や他サービスとのAPI接続を見据え、利用者のプライバシーを厳格に保護しながら柔軟に対応できる、技術的な拡張性(データベース構造やセキュリティ設計等)を有しているか。
将来の維持管理コストの妥当性	5	2	10	・上記の(1)～(3)における拡張機能の開発・追加に伴う、翌年度以降の運用費等のトータルコストの算定根拠や抑制性(費用対効果)が妥当であるか。 ・将来のユーザー増等に対し運用維持費用が爆発的に膨らまない設計(低い限界費用)であり、特定の受託者に依存しないオープンなWeb技術の採用(バンダーロックイン回避や引継ぎの容易性)が考慮されているか。
III. その他			15	
市内企業	5	1	5	・京都市内に本店、支店又は営業所等を有する者であるか。
価格点	5	2	10	初年度のトータルコスト(アプリ開発費＋利用料＋保守・管理経費)の経済性を評価。価格に見合った機能・サービス水準であるか、予算内での確実な遂行力を重視する。 配点(10点)×(提案価格のうち最低価格／自社の提案価格)
合計			100	